

保護者の皆様

大阪府立摂津支援学校

校長 大峠 貴弘

平成30年度 「学校教育自己診断」の結果と考察について（ご報告）

日ごろは、本校の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、昨年12月に実施しました『学校教育自己診断』の集計結果がまとまりましたので、ご報告します。今回の結果とご意見を次年度に活かし、さらに充実した教育活動を展開していきたいと考えています。

今後とも、ご協力、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

1. 実施時期・実施方法

【保護者】 11月中旬～12月上旬に配付、回収（12月中旬に再配付、提出呼びかけ）

【児童生徒】 小・中学部：児童生徒の実態に応じて授業内で実施
 高等部：12月上旬に各学年で実施

【教職員】 11月中旬～12月上旬に配付、回収

- ・保護者、児童生徒、教職員と横断比較しやすいように、一部の項目を整理した。
- ・生徒の実態に合わせて、表現をわかりやすいように変更した。
- ・保護者の提出率向上のため、未提出者に向けて提出の依頼と診断票の再配付を行った。

2. 提出率（過去3年の比較）

	学部\年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
保護者	小学部	74.2%	74.0%	94.1% (96/102名)
	中学部	81.5%	72.9%	90.9% (90/99名)
	高等部	63.3%	70.4%	84.5% (82/97名)
児童生徒	小学部	11.2%	13.0%	13.7% (14/102名)
	中学部	82.7%	95.3%	87.9% (161・文26/99名)
	高等部	81.7%	75.7%	75.2% (130・文43/97名)
教職員		100.0%	100.0%	98.4% (122/124名)

3. 結果報告（集計の詳細は学校Webをご覧ください）

●保護者向け診断票

肯定的回答（A.よくあてはまる+B.ややあてはまる）について

全30項目中 90%台・・・22項目 80%台・・・8項目

上位3項目	項目番号	内容	A+B	
	①	7	学習の内容、学校生活の様子を懇談や学年通信、連絡帳などによって、知ることができる。	98%
	②	14	体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの行事は、子どもたちが楽しめるように工夫されている。	97%
	③	23	学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。	97%

- 昨年度と同様に肯定的な回答が多数であった。最も低かった項目でも 84%が肯定的であった。
- 昨年度と比較して肯定的な回答が 10%以上アップした項目は以下の通りである。
 - ⑩「子どもは、部活動に意欲的に参加している」 77%→93% (+16)
 - ⑳「情報提供の手段として、学校ホームページが活用されている。」 73%→84% (+11)
- 昨年度と比べて、肯定的な回答が 10%以上ダウンした項目はなかった。

否定的回答 (C.あまりあてはまらない+D.まったくあてはまらない)について
全 30 項目中、否定的回答が 30%以上の項目はなかった。

●児童生徒向け診断票

肯定的回答 (A.よくあてはまる+B.ややあてはまる)について

[文章版] 全 24 項目中

90%台・・・10 項目 80%台・・・9 項目 70%台・・・3 項目 60%台・・・2 項目

[イラスト版] (「はい」と回答した割合)

全 9 項目中 90%台・・・1 項目 80%台・・・6 項目 70%台・・・2 項目

[文章版、イラスト版共通項目]

全 9 項目中 90%台・・・5 項目 80%台・・・4 項目

上位 3 項目		項目番号	内容	A+B
	①	2	先生は一人ひとりのことを大切にしている。	96%
	②	5	先生は私たちの話をよく聞いてくれる。	96%
	③	21	地震や火災などが起こった時に、どうしたらよいかを教えてもらっている。	95%

- 昨年度と同様に、肯定的な回答が多数であった。
- 昨年度と比較して肯定的な回答 10%以上アップした項目は以下の通りである。
 - ・④学校目標の「笑顔きらめく元気な学校 ・ 君の得意を見つけ伸ばそういいところ ・ つながる心 つなげよう未来へ」を知っている。 57%→78% (+21)
 - ・⑪「担任の先生以外にも、気軽に相談することができる先生がいる」 69%→81% (+12)
*昨年度「担任の先生以外にも、保健室などで気軽に相談できる先生がいる。」
 - ・⑯「校外学習や体育祭、学校祭、宿泊学習などの学校行事は楽しい。」 79%→95% (+16)
 - ・⑰「給食の献立は工夫されていて、おいしく食べられる。」 78%→90% (+12)
*昨年度「給食の献立は、よく考えられている。」
 - ・⑲「教室や特別教室、体育館などは授業や生活がしやすいように整っている」
74%→94% (+20)
- 昨年度と比べて、肯定的な回答が 10%以上ダウンした項目はなかった。

否定的回答 (C.あまりあてはまらない+D.まったくあてはまらない)について

下位 3 項目		項目番号	内容	C+D
	①	20	学校で使う道具や器具が壊れたときは、すぐに修理や取り替えの対応をしてくれる。	33%
	②	22	学校のホームページはわかりやすい。	31%
	③	23	授業や行事で近くの学校や地域の人と交流することがある。	29%

- 項目 20 について、昨年度も C+D の回答は 33%と同じだが、D の割合が 5%上がっている。
- 項目 22 については 3 年間で 47%→40%→31%、項目 23 についても 43%→37%→29%と少しずつ改善はされている。

●教職員向け診断票

肯定的回答 (A. よくあてはまる+B. ややあてはまる) について 全 51 項目中
90%台・・・29 項目 80%台・・・16 項目 70%台・・・5 項目 60%台・・・1 項目

上位 3 項目	項目番号	内容	A+B	
	①	43	教職員としての服務規律を自覚した行動をしている。	99%
	②	21	生徒は部活動に意欲的に参加している。〔高等部のみ〕	98%
	③	35	個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、保護者に開示・説明している。	98%
	③	19	体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	98%

- 肯定的な回答が多数であった。特に、教育活動に関する項目はすべて 80%以上であった。
- 今年度は、質問項目を変更したので、全ての項目を昨年度と比較することはできないが、全体的に肯定的回答が増えている。
- 昨年度と比べて、肯定的な回答 10%以上アップした項目は以下の通りである。
 - ・⑩「いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。」 82%→98% (+16)
 - ・⑩「個別の教育支援計画の作成、活用について、児童生徒の状況に応じ、関係機関との連携を図っている。」 76%→91% (+15)
 - ・④「事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。」 85%→96% (+11)
- 昨年度と比べて、肯定的な回答が 10%以上ダウンした項目はなかった。

否定的回答 (C. あまりあてはまらない+D. まったくあてはまらない) について

下位 3 項目	項目番号	内容	C+D	
	①	24	教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員は意欲的に取り組んでいる。	33%
	②	33	教職員は PTA 活動に協力している。	28%
	③	40	充実した学校運営ができるように、会議や面談等で自分の意見や考えを発信している。	26%

- 項目 33 については、A, B, C, D の割合がいずれも昨年と変わらない結果であった。
- 他の項目については、昨年度とは文言を変えたり、新設したりした項目である。

4. 意見への回答 (別紙参照)

5. 昨年度からの推移について (H29→H30)

- 29 年度、肯定的な回答が大幅に下がった項目についての改善状況は次の通りである。
 - ・〔児童生徒〕「4: 学校目標の『笑顔きらめく元気な学校・君の得意を見つけ伸ばそういいところ・つながる心つなげよう未来へ』を知っている。」 H2869%→H2957%→H30^{78%}
*昨年度の 57%と比べると大幅に改善された。今年度 1 学期の全校集会での発表や、生徒用玄関に掲示した効果があったと考えられる。
 - ・〔児童生徒〕「19: 教室や特別教室・体育館などは授業や生活がしやすいように整備されている」 H2885%→H2974%→H30^{94%}
*昨年度末から校務員が配置されたことにより、清掃や環境整備が丁寧に行えるようになり、その結果が反映されたと考えられる。
 - ・〔児童生徒〕「2: 先生は、みんなのことを理解してくれている。」 H2892%→H2982%

⇒同じ項目はないが、イラスト版の「2：先生は一人ひとりのことを大切にしよう」と文章版の「2:先生は一人ひとりのことを大切にしている」、「3：先生は私たちの障がいについてよくわかってきている」の平均は87%であった。

- ホームページ**については、保護者向け項目「28：情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている」は、昨年度より肯定的回答が11%上昇し84%となった。今年度より、スマートフォン対応のデザインに改良されたことや、災害時の情報源として活用したことが反映されたと考えられる。生徒向け項目「22：学校のホームページはわかりやすい」も、まだ肯定的回答が69%と課題は残るが、昨年度よりは9%上昇している。今後も引き続き、わかりやすいように工夫をしていきたい。
- 生徒に対する相談体制**については、今年度は支援部が対応する際に、職員に事前にアナウンスすることを心掛けたこともあり、教員の肯定的回答は5%（Aに限ると10%）上昇し86%であった。また、文言の変更もあり、生徒の肯定的回答も69%→81%へと改善されている。一方で、「D.まったくあてはまらない」と答えている生徒も減ってはいるが残っているため、児童生徒のシグナルを見逃さないよう、今後も注意深く見守る必要がある。
- いじめや事故、災害等が起こった際の体制**に関する項目で、教職員の肯定的回答が上昇したのは、「学校いじめ防止基本方針」の周知が進み、実際にその方針に則って対応したことや、今年度多く発生した自然災害により、教職員の危機意識が高まったことに起因すると考えられる。
- 学校経営**について・・・昨年度よりは改善が見られるが、依然として「24：校内人事や分掌分担」についての肯定的回答の割合は低い。しかしながら、項目25の結果から、任命された役割の中で、学部・学年間、分掌間で連携し業務を遂行していることは伺える。また、今年度は「校長のリーダーシップ」という問い方はしなかったが、項目22、23を見ると、校長より示された学校運営についての考え方を理解し、組織の一員として働いていると回答した割合は8割を超えていた。今回の項目の中で肯定的回答が3番目に低かった「40：意見発信」（74%）であるが、「39：職場の人間関係について」の肯定的回答が昨年度より9%上昇していることから、今後も風通しよく、意見を言いやすい職場づくりをめざし、教職員一人ひとりが学校運営に参画するという意識を育てていきたい。

6. 今後の課題について

- 人材育成**・・・「経験の少ない教員の支援体制」について、全体の肯定的回答はH2977%→H3080%と改善されているが、D.まったくあてはまらないと回答した割合が上昇している（6%）。また、保護者から支援内容の充実、指導方法の向上を求める意見も出ている。初任者でなくても前籍校と校種が異なったり、年度途中から着任したりする教員もいるので、授業力向上のPDCAサイクルとともに、お互いに高め合える体制づくりを進めていきたい。
- 業務分担**・・・昨年度よりは改善されたが、今後もバランスの取れた人事及び業務分担をめざし、部主事や学年主任、分掌長からのヒアリングを丁寧に行い、来年度に向けて調整を試みる。また、業務が偏らないように、3年をめどとして、主任・分掌長等の交代も促していく。
- 道具や器具の保全**・・・開校から6年経ち、経年劣化したものも出てきている。予算の面からも修復が追いつかない現状があり、それが生徒からの診断に如実に表れた結果となった。物を大切に扱う指導もしながら、安全に教育活動が行えるように、点検や修理、取り替えなどを計画していきたい。